

九炭労各山の合理化反対闘争の実情報告のため、北海道でオルグ活動をつづけた永田教宣部長（ほかに杵島、高松から各一名）は、このほど帰組したが、北海道各山におけるたたかひの実態や三池にたいする仲間たちの関心について、大要つぎのように語った。

オルク印は十九日北邊入り、翌二十日、三十一日は三義舞踊に行つた。 三義舞踊では今年の二月から三月までに九〇名が希望職に就き二月当分の存続額、三〇〇名は三二四〇名に上つた。 会社の希望職のやり方をみると、關東・關西方面で出張するうちに上り出して、そこで会社が就職先	をみつめて来て本が就職したならば許さないと。 これに対して糾合は、希望職に就くにも活動をしてゐる状態である。 保安團體は、三池一向に上つたといふやうな感じがする。 ある。私たちが聞かされてゐる三池の重要者は、おおよそ二十六日には、各の希望を出してゐる。	二坑の機込堀で三池の実情を説明し、夜は主席との座談会をもつて話し合つた。 二十二、二十三にかけて三井興業は、二十日に二名の死者を出して、三坑連中は暴力行使で抗議行動をやつて決定してゐた。 会社の保安がたいする體裁は
--	--	--

各山とも変りないほど強いものがある。

契機では繰り場、三池の裏情を語したが（ここは従来の慣行として、一時間の職場情實ができた）、質問の主なものは、(1)三池は三鉱連に入るのかどうか。(2)第二組合との統一をどう考えているか。(3)社宅での第二組合との情状などであつた。

私が説明するまでもなく第二組合の裏態はみんなよく知つており、三池労組に非常に好意的な態度をしめしていた。

各山とも三池の差別や切り崩し攻撃とのたたかひに大きな関心をもちつてゐる。そしてこれらの攻撃に

屈せざつたかぬことを通じて第二組合員は目覚めさせ、統一の気運を高めていくことを期待してゐる。

三池闘争のあと、各山にも出されたい合理化の結果として巨立つてゐるのは、どこでも保安がおろそかになつてゐることである。それは大きな問題であり保安闘争・反合理化闘争・政策変更闘争を積極的にくみあげていく強い中意がうかがえた。

このような中で、三池のわれわれれが差別・切り崩しにたいしてねばりが強く抵抗をくみあげてゐることの意味の大きさを改めて考えさせられた。

菊池委員長三池で激励

感は、一萬般炭火鍋池委員長は、去日九州
八月十二日から東京でひらかれる
第七回原水爆禁止世界大会を主宰
して全国土をあるきつづける国民
平和大行進は、六月十四日、北の
椎内市、南のはては与論島、原爆の
広島と青森市、奥飛良田市、和
歌山県橋本市などの六地点を出発
して、現在あるきつづけている。
九州では与論島から鹿児島に入り
こて熊本へ向かうコースと、宮
崎に向かうコースに分かれ、熊本
コースは熊本市なら豊門陣にそつ
て大分市へむかい、宮崎からの行
進と合流して門司へむかう。

ボーナスから尊いカンパ

三浦友相の机のあたりには、いまもなお三浦をせる会をほはじめとする全開の仲間からたくさんのカンパや激励の手紙がとどけられています。

三浦の火はいまも燃えつづけており、ひろげられていくのです。

次の手紙は、東京の小崎光三さんからとどけられたもので、ボーナスの中から quantity カンパ三千円が同封されていきました。

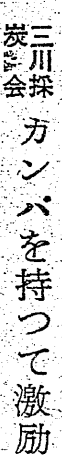
この小崎さんのけがましに似た、え、二その因縁をなためることもに、みんながお札と交流の手紙をだしましょう。

☆ ☆

闘争報告書を送りたいたいでありますがどうございました。

約束を平気でやぶる会社側、力関係で約束というものは、いつもこんなものだとかい、胸のあたりがやけるような怒りをかんじます。

怒りをおさえることが、どんな



無制限として企業整備反對闘争をつひてゐる村島、高松労組への激励交渉は、各地域分會や職場分會で自主的に計画をたてて激励をつひてゐる。

三川支部探炭會（會長金澤幸男）では闘争中の支援のお礼をかねて激励を行なつてゐることはさきより、探炭會の中から代表二〇九名が食切バスマシン分業として七月二日に高松の激励に向つた。

なお、探炭會では激励交渉とともに、二万石生活長期にわたつてたたかいをいひつゝ高松の仲間にも、少しでも援助しようと思金カンを集めて進行した。

激勵団は採地につくともたつ三坑と二坑に分かれ、とくに高松の探炭の人たちを主とした交流探炭會を行なつた。

座談會では高松の事態をきくとともに、こちらから三川の差別待遇やその他の闘ひの事情を知せられたが、とくにあまりにもひどい差別にはみんなびつくりしてゐた。また廣岡では、自分たちにも関連するもので、さすがに借金の問題がとくに多かつた。

座談會はひとつも形式はつたところがなく、相互に腹をのちく話し合ひ心がなつてゐて、大きな成果をおぼつたができた。

七月になつての激勵は、

高松、村島への交流激励は自昭ととどこひの地域がつひており六月には高松へ延べ六八三名、村島へ九四五名が参加してゐる。

三川村分會、富洲、方連嶽（以上村島）富洲上富分會、幣一番機械（以上新原敷）三川探炭分會（高松）三川桂木婦會（村島）小浜南分會・主婦合同、野澤分會（高松）富洲四万抽塩、岡渡分會（新原敷）

熊本 断然他を離しトツプ。

熊本県議補欠選挙（定員二名）は六月二十四日告示、七月九日投票。その結果、社会党の鶴見健策候補が終りリードのうちに首位で昇事に当選をみちえた。

鶴見さんは、熊本県総評副議長（金澤縣本地委員長）で、昨年の三池闘争ではいちばやく支援にかけつけ、四山支部に入つて長期間

大分分会にて、われわれとは深いつながりのあつた人である。

その時のお礼をかねて酒井政協局長が期間中ずっと張りつけたたかひの支票激励をつけてきた。

当鶴見、健策（社二）、八八六
当柴田、謙之（自一六）一六五
橋山ハル子（自二三）五五
村本 敏夫（共二）九〇三

九州炭労青年協議会

九坂努では青年組織結成にのりだし、昨年九月から数回にわたつて九州府青年協議会の準備会をひらき討議してきたが、このほど最終的な結成のための準備を完了しかく結成のはこびとなつた。

準備会では七月二日から九坂努で結成のための議案書を整理するため最終準備会をひらいたが、三池からは行動隊から青年部への切替えが行なわれていないため、行動隊の池本敏介氏（事務支部）が準備委員として参加した。

二日の準備会では組織行動方針が高松から提案され討議することともに、経過報告、規約、綱領、予算案、活動方針などの最終整理を行なつた。

つづいて三日の会議では役員構成スローガンなどを討議して最終的なまとめを行なつたが、結成大会については青年集会上の関係もあり、七月三十日を予定している。

なお、結成大会まえに代表者会議（九日）を行ない、議案書を討議そして二週間の期間をおいて下部討議をおこなうことになつてゐる準備会で決定した役員構成はつぎの通りである。

委員長、副委員長、事務局長、組織部長、教習部長各一名、会計監査二名。

【宮浦支部】

四日	うたごえ練習	【三川支部】	四日	平利行進服本まで一名、玉名まで五名参加
七日	主婦会で生活改善懇談会			
九日	團葬サークル総会			
	團葬、将棋サークル初回大会		九日	うたごえ練習
	議			
	馬渡分会、内方掘進で新屋敷労組へ激励		九日	小浜南、野分分会、高松労組へ激励
	乙方運搬件品へ激励			
【四山支部】			【本所支部】	
四日	平利行進、玉名まで十二名		七日	うたごえ練習
	服本まで二名が参加			
五日	田代井陘士の流寇闘争の現況と政權法の講演会（支部二階で）		八日	團葬サークル会
			九日	金魚、盆裁サークル研究集会
六日	同講演会（室内分会）			
			【津務支部】	
			一日	謡曲部結成
			二日	写真サークル三角で撮影会
			四日	うたごえ練習